

「院長さん きいて！」への回答

「娘の入院時に、病院食があまりにも味気がなく、見栄えも悪く、ほとんどの青年食の子が残っていて、作って下さる方々に申し分けない気分になりました。院長先生も『おいしい!』と思える食事を提供してください。お願いします。」

とのご意見に回答いたします。

病院の食事は、お召し上がりの状況を把握する観点から、嗜好調査、喫食調査などを実施し、その結果を踏まえて、提供内容を検討しています。今回いただきましたご意見も、同様に受け止めてまいります。

なお、お気づきの点がありましたら、その都度お伺いしお聴きしますので、遠慮なくスタッフへお申し出ください。

今後もより良い栄養管理を目指して業務を行ってまいります。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

1. 「先日、リハビリ担当者から電話がありました。マスクをしないとリハビリを受けられないのですか？咳や鼻水がでる場合ダメなのはわかります。病棟のこどもたちを守るためであることもわかります。でも風邪症状もなく元気なこどものマスクの有無で必要な医療行為を受けられないというのは仕方ないで済ませてほしくないです。

感染研がエアロゾル感染を認めていますよね？つまり従来の感染対策がほとんど無意味であることの証明だと思えます。コロナ禍が3年目に突入したことからも、病院のスタッフ内に感染者が数名でたことからも、マスクが感染対策になっていないのは明らかではないですか？感染者がマスクをしていなかったわけではありませんよね？マスクやワクチンに効果があるのなら、この2年で感染者は減少しているはずなのに逆に拡大していますよね。

マスクが有害であることを北海道の小学生が証明したという記事はご存知でしょうか？この病院には、「苦しい」も言えない子や、様々な理由でマスクが着けられない子がたく

さん通院していることは、先生方が一番わかっていると思っていたのでとても残念です。マスクを強要するより、自然免疫力を上げるための指導をしていただきたいです。コロナワクチンも子どもには必要ないと思います。大人が3回うっても感染が広がる一方です。逆にワクチン接種が進んでいない国のほうが感染者が少ないですし、コロナ死の7割がワクチン接種者とも言われています。ただでさえ人類史上初のmRNA ワクチンで副反応が原因と疑われる死者が国内だけで1500人を超えています。因果関係が証明できないからといって看過できる数字ではなく、今までの他のワクチンなら接種中止になっていましたよね。アメリカでの5歳~11歳への2回接種後の1週間の経過観察では、かえって感染しやすくなるというデータもあります。

ワクチン接種に警鐘を鳴らす有志医師の会が東北でも発足され、全国有志医師の会からコロナワクチン接種事業中止を求める共同声明が出されていますが、これについてはどうお考えでしょうか。3月12日には宮城でもワクチン後遺症についての映画が上映されましたが、ごらんになられましたか？医師相手に大変失礼な言葉だということは承知のうえです。感染対策について、一度立ち止まってよ

く調べ、考えていただけませんか？運営上、国や県の方針に従わなければならないという事情もあるのかもしれませんが、ですが、こどもたちにとって、ここの病院が最後の砦なんです。」

2. 「先月から、2才以上は、感染予防のためマスク着用できない場合リハビリは受けられないと言われ、リハビリを受けれていない状況です。今、2才4か月ですが、発達遅滞と診断されており、リハビリが欠かせない状況です。いつリハビリ可能になるかも分からず、この子の将来が心配でたまりません。

『ゼロコロナ』の考えも理解できますが、発達状況や特性のためマスクをすることが不可能な子どもたくさんいると思います。

どうか、この子ども達の将来の可能性をつぶさない良い方法を考えて下さい。宜しくお願い致します。」

3. 「コロナ感染防止はわかりますが、この時期に花粉症、アレルギー、ぜんそくの方は、来院を控えて下さいは無いと思います。今までずーっと、この時期でも来てました。小児科に行って、アレルギーの薬ももらってます。証明出来れば問題ないと思います。」

との3件のご意見に回答いたします。

ご意見を読ませていただきました。ご不便とご心配をお掛けしていることを、申し訳なく思います。

県内の感染が収まらず、10歳以下、10歳代の感染報告も多い状態が続いているため、リハビリを受けるお子さんと療法士の感染リスクを減らすために、マスク着用をお願いしております。

3月22日以降、マスク未着用のお子さんのリハビリを延期させていただいてから一ヶ月経過し、私たちもこの状況に危機感を感じており、ご家族様のお困りごとやご不安なことについては、リハビリ実施は難しくても、電話や診察での来院時にご相談いただき、一緒に考えて何かご提案できればと思っております。

今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

病 院 長

「院長さん きいて！」 への回答

「コロナがまた流行し始めて、入院中（単独入所）の子供達は、週末外泊はもちろん、直接の面会もできずにいるが、せめて5月の大型連休中だけでも直接家族と面会できる時間を設けてほしいです。面会者の条件としてはコロナワクチン3回接種済証、また直近72h以内のPCR陰性証明書を持参のうえ時間指定、どこかの個室を利用して行えば院内感染のリスクはおさえられるのではないのでしょうか。いくらZOOMでの面会が可能とはいえ、子供にとって保護者との直接のスキンシップは精神衛生上絶対に必要だと思います。医療関係者の方々がギリギリのところまで精一杯やって下さっているのは重々承知しておりますが、何卒ご検討の程宜しく願います。」

とのご意見に回答いたします。

度重なるコロナの流行により、ご不便とご心配をお掛けしていることを、申し訳なく思っております。

第6波の感染者数の低下が緩やかで、第7波に突入していると思われる状況であり、入院中

の患者さんは感染したときの重症化リスクが高いことより、流行拡大期は持ち込み防止策の徹底が重要と考えています。

しかしながら、患者さんのストレス軽減を図る目的で、自宅のみの条件付きにはなりますが外泊を一時的に許可したり、また場面に応じて面会を許可しております。

今後とも、院内感染防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「ひだまりラウンジで・・・
みんなが黙食している中、医師集団（6人くらい）がまん中のテーブルでマスクを取って会話をしていました。（年配の先生が主に話しており、若手の先生方も注意すること無く会話していました）病院の感染対策って・・・？」
とのご意見に回答いたします。

この度は、不快な気持ちにさせてしまい、誠に申し訳ありません。

黙食について、職員に対し、再度周知徹底を行い、また本館のおひさまラウンジ内の感染対策も強化しております。

引き続き、職員への感染対策に対する意識の向上に努めてまいります。

病 院 長

「院長さん きいて！」への回答

「W i F iを入れて下さい！！」
とのご意見に回答いたします。

W i - F i の導入につきましては、入院中のお子さんのメディア依存を助長する懸念があることや、全国の小児病院で全面的に導入している病院が少ないこと等から、慎重に検討を行っております。

入院中のお子さんに対し、これまでどおりメディアに依存しないベッドサイドの関わり方や過ごし方を提供できるよう努めるとともに、オンラインを活用した学習支援や授業等については積極的に環境を整備してまいります。ご理解いただきますようお願いいたします。

病 院 長

～感謝のお言葉をいただきました～

「OTのはしうら先生にととても親切にしてくださいました。相談にもものっていただいて、毎回気持ちがかかるくなりました。ありがとうございます！！とてもすてきな作業療法士さんです！これからもたくさんの人を元気づけてほしいです♪」

「脳外科の林先生がととてもいねいで安心して診察を受ける事ができました。細やかな気づかいに感謝しています。」

「来年度の学校生活について主治医の先生が大変親身になって相談に乗ってくださいました。ありがとうございます。」

「毎月の通院でお世話になっております。看護師さんたちにはいつもとてもよくしていただいて、本当に救われています。名前を覚えてくれて（沢山患者さんがいるのに、それだけでも感動です）、優しく声をかけてくれたり、『ママがんばってるね』など母の私にも気づかいをしてくれたり、みなさんにいつも感謝しています。大変な仕事だと思いますが、今後ともよろしくお願いします。」

この度はありがとうございます。皆様からのお言葉は、職員はうれしく思っており、また励みとなっております。

今後により良い医療を提供できるよう努めてまいります。

病 院 長